

# 医師会 健康講座

## 頭頸部がんについて

市立宇和島病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

吉田 正



と機能・臓器温存の両立を目指し、がんの種類、病気の進行具合、患者さんの年齢、持病や社会的背景などを踏まえ、それぞれの状況に応じて決定します。

いずれにしても、まずは早期発見が非常に重要になるため、頭頸部で何か気になるような症状があれば、一度、当院の耳鼻咽喉科・頭頸部外科を受診してください。

皆さんは頭頸部という言葉を知っていますか。日常生活の中では、あまり耳にすることは少ないと思います。頭頸部とは顔面から首（頸部）までを指し、おおむね脳の下から鎖骨までの範囲で耳、鼻、副鼻腔、のど（咽喉）、喉頭、口腔（舌など）、甲状腺、耳下腺などを指します。よって頭頸部には、呼吸や食事（咀嚼・嚥下）、発声、味覚、嗅覚、聴覚のような生命維持や日常生活に必要な機能が集中しているのです。そのため、頭頸部の病気にかかると腫れや痛み、出血、飲み込みにくい、声がかすめる・出にくいなど日常生活に支障をきたし、生活の質が大きく低下します。

今回、一般的に聞き慣れないであろう頭頸部のがんについて話をします。頭頸部がんにはおもに咽頭がん、喉頭がん、上顎洞がん、口腔がん（舌がんなど）、唾液腺がん、甲状腺がんなどがあります。頭頸部がんの発生頻度は胃がんや大腸がん、肺がんなどに比べると低く、がん全体に占める割合は5%と稀ながんです。また、頭頸部がんの人は食道などまったく別の部位にも、がんが発生しやすいことが知られています（重複がん）。

頭頸部がんの症状は、がんのできる部位によって異なります。口腔がんの中では舌にできる舌がんが最も多いです。舌がんは舌の両サイドにできることがほとんどで、最初はただの口内炎だと思い、気にしない人も少なくありませんが、なかなか治らない、ひどくなるような場合は早めに受診してください。鼻にできるがんとしては、上顎洞がんが多いです。症状は蓄膿症と似ており、鼻づまりのほか、膿のような鼻水、血の混じった鼻水が続きます。進行すると頭痛や視覚障がい、歯茎が腫れるなど、鼻以外の症状が出やすくなります。のど（咽喉、喉頭）のがんは、のどの腫れ、痛み、ものが飲み込みにくい、飲み込むときの痛み、呼吸がしにくい、声の枯れなどが起こります。また、首のしこりは、すべての頭頸部がんで起こり得ます。

頭頸部がんの発生には喫煙や飲酒が大きくかかわっています。よって、頭頸部がんを予防するには節酒禁煙といった生活習慣の改善も重要です。実際、禁煙活動の普及とともに喉頭がんは減少してきています。一方、咽頭がん、口腔がんは、男女とも約2倍に増加しているといわれています。その原因はヒトパピローマウイルスの関与が指摘されており、50%を占めるという報告もあります。

